

STRADIVARIUS CONCERT

Profile



©Den Sweeney

ヴァイオリン

ニッキー・チューイ

Nikki Chooi

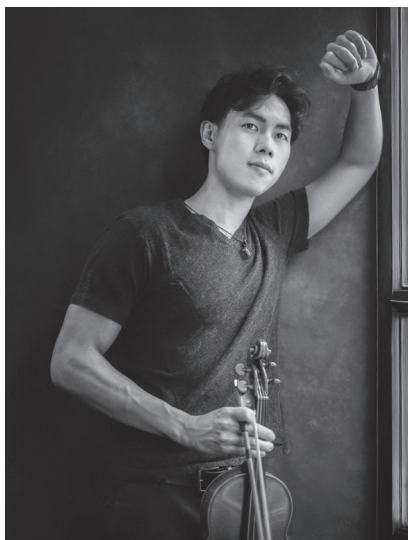
Violinist

ニッキー・チューイは、力強く詩的な演奏で高い評価を受ける国際的ヴァイオリニスト。エリザベート王妃国際音楽コンクール、チャイコフスキー国際コンクール入賞、マイケル・ヒル国際ヴァイオリン・コンクールなど数々の国際コンクールで優勝を果たした。

現在、グラミー賞受賞歴を持つバッファロー・フィルおよびサンタフェ歌劇場管のコンサートマスターを務め、過去にはメトロポリタン歌劇場管のコンサートマスターも務めた。

ニューヨークのカーネギーホール、リンカーンセンターでのソロ公演で高い評価を得ているほか、ソリストとしてベルギー国立管、オークランド・フィル、国立台湾交響楽祭管、香港フィルなどと共演している。アメリカのマールボロ音楽祭、ラヴィニア音楽祭など数々の国際音楽祭にも出演。弟でヴァイオリニストのティモシー・チューイとの共演でも知られ、ヨーヨー・マ、ジョアン・ファレッタといった著名な音楽家とも共演している。

教育活動にも力を注ぎ、カーティス音楽院、サンフランシスコ音楽院など、世界的に名高い教育機関で後進の指導にあたっている。笹川音楽財団保有ストラディヴァリウス1722年製ヴァイオリン「ジュピター」使用。



©Den Sweeney

ヴァイオリン

ティモシー・チューイ

Timothy Chooi

Violinist

ティモシー・チューイは、卓越した技巧と豊かな音楽性で国際的に高い評価を受けるヴァイオリニスト。ヨーゼフ・ヨアヒム国際ヴァイオリン・コンクール優勝、エリザベート王妃国際コンクール第2位、ヴェルビエ音楽祭でイヴ・パテルノ賞を受賞するなど輝かしい受賞歴を持ち、これまでにドイツ交響楽団ベルリン、ベルギー国立管、ロイヤル・フィルハーモニー、トロント交響楽団など、数々のオーケストラと共演している。

16歳でモントリオール交響楽団と共演しソロデビューを果たしたことを機に国際的なキャリアをスタートさせ、カーネギーホール、ベルリン・フィルハーモニー、サントリーホールなど世界の主要ホールに出演している。

2026年シーズンはNHK交響楽団との初共演やプラハ放送響との欧州ツアー、2025-26年ウィーン・コンツェルトフェラインのアーティスティック・パートナーとしてウィーン楽友協会での公演を予定。東京、ブリュッセル、ニューヨークなどを含む世界各地の国際音楽祭やリサイタルに定期的に出演している。

教育・文化交流活動にも力を注ぎ、現在はオタワ大学ヴァイオリン教授を務める。使用楽器は、笹川音楽財団貸与の1714年製ストラディヴァリウス「ドルフィン」。



ピアノ

三又 瑛子

Akiko Mimata

Pianist

仙台市出身。4才よりピアノを始める。桐朋学園大学ピアノ科を首席で卒業。同大学卒業演奏会、室内楽演奏会に出演。第16回ABC新人コンサート、第78回読売新人演奏会に出演。

2005～2007年、田崎悦子氏主催ピアノワークショップ「Joy of Music in 八ヶ岳」受講。2012年および2013年、日本音楽コンクール コンクール委員会特別賞（ヴァイオリン部門ピアノ伴奏）受賞。これまでに国内外の演奏家との共演をはじめ、文京華氏とのピアノデュオ「リブラ」としても活動。

これまでに、ピアノを庄司美知子、加藤伸佳、田崎悦子、加藤洋之、室内楽を加藤知子、徳永二男の各氏に師事。桐朋学園大学弦楽部嘱託演奏員。東京藝術大学室内楽科非常勤講師。石川ミュージックアカデミー、霧島国際音楽祭、などで公式伴奏者を務める。NPO法人ハマのJACKメンバー。